資料１４

宗像市国際交流指針

2009年7月

第１章　国際交流指針策定の背景と目的

近年、私たちは、インターネットをはじめとする情報通信技術の急速な進展によって世界中の情報が瞬時に入手できるようになり、経済や社会、文化などの様々な分野では、国の存在や枠組みを超えた共存の関係が一層深まりつつある。

グローバル化が進展する中、ビジネスや留学、研修、観光など、個人レベルでの国を越えた活動は年々増加しており、今後もその傾向は進むものと考えられる。

これまでも、本市における国際交流活動は、歴史的につながりが深く、地理的にも本市とも最も近い韓国との交流を中心に、行政をはじめ、市民や市民活動団体、企業によって取り組まれ、着実に進展してきた。

国際交流活動をとおして、市民の異文化に対する理解と国際感覚が醸成され、市民一人ひとりが国際社会の一員であることの認識を持つことは、今まで以上に重要なことである。

また、市民が異文化と接するときには、相手の国や地域の現状を理解するだけでなく、自国の文化や歴史、伝統に充分に精通したうえで、相手国の人々に対して説明や紹介をしていくことも必要である。そうした経験により、市民が自国文化に対する理解を深めていくという効果も期待できる。

地域社会には、多様な民族、国籍、文化を持つ外国籍住民が居住するようになり、本市においても、外国籍住民の増加が予測される。このため、円滑な地域社会づくりのため在住外国人の支援・サポートを行うとともに、市民及び在住外国人が相互の文化を認識・尊重しあい、人権を守り、ともに多文化が共生する地域社会づくりを実現していく必要がある。

また、グローバル化に対応した人材の養成など、地域の国際交流活動の多様化に対応できる知識と経験を持った人材の育成が必要とされている。

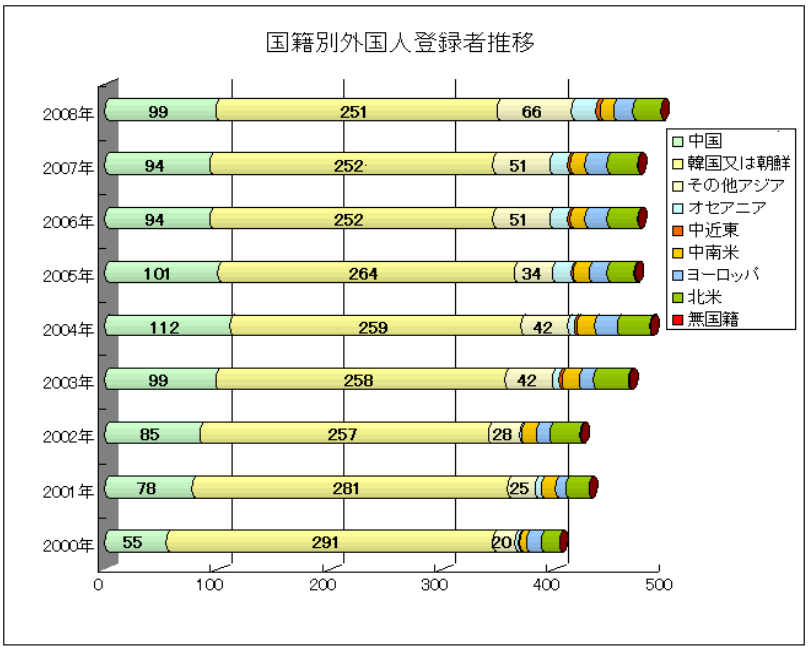
今後、市民や市民活動団体、企業など、民間が草の根国際交流活動の主役として活発に取り組むことで市民の異文化理解が深まり、多文化共生社会の実現に寄与する役割が期待される。そのために行政は、情報の周知や団体間の連携を図るなど、民間の国際交流活動を支援していく役割が求められる。

以上のことを踏まえて、行政と民間がそれぞれの役割を担ってさらなる市民主体の国際交流が推進できるよう、指針を定める。

第２章　宗像市における国際交流の将来像

１．市民が、それぞれの国や地域の生活習慣や文化をよく理解するとともに、本市のことが国外の人々にもよく理解されることを目指す。
２．地域社会の中で、市民と在住外国人が、国籍や文化の違いを越えて共に認め合い、尊重し合う多文化共生社会の推進を目指す。
３．本市と国外地域との間で人々の行き来や交流の場があり、市民が主体となった、草の根国際交流活動が活発に行われる社会を目指す。

第３章 宗像市における国際交流の現状と課題



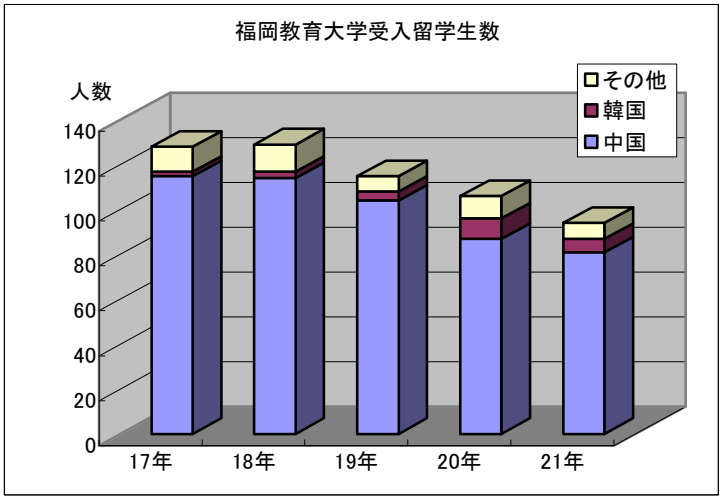
本市における国際交流は、これまでも市民や市民活動団体、企業を中心に取り組まれ、姉妹都市との交流や海外都市とのホームステイ体験・受入れなど、市民レベルでの国際交流を基本におき、草の根の国際交流の推進を図ってきた。1991 年には、国際交流団体相互の連携や地域の活性化を目的に「宗像地域国際交流連絡協議会」が発足し、市民活動団体の交流や情報交換が図られた。

市主体の交流としては、韓国金海市と姉妹都市を、また韓国城山邑と友好交流都市を結縁し、職員相互派遣研修、美術・文化交流、スポーツ交流など、各種の交流事業を実施してきた。

また、福岡教育大学と共催の国際シンポジウム（1990 年 10 月）やアジア児童文学祭（1993～1995 年）、ユニバーシアード福岡大会でのバスケットボール競技開催（1995 年）など、大きな国際的事業にも積極的に取り組んできた。

その間、1994 年には「宗像市国際交流推進懇話会」から「宗像市の国際交流のあり方」に関しての提言がなされ、草の根国際交流の一層の推進を図っていくこととなった。

現在は、姉妹都市交流をはじめ、中学生を対象にしたニュージーランド少年少女海外派遣事業、ニュージーランド国マウント・ロスキル校交流事業、ＡＬＴの全小中学校配置、職員の海外一般職員派遣研修など、多種多様の事業を実施している。



1. 行政交流の現状

市が主体となって行う行政交流としては、次のようなものが挙げられる。

（1）姉妹都市交流

韓国金海市とは、1992 年に旧宗像市と姉妹都市の締結を行い、これまでに美術・文化交流、小・中学校交流、職員派遣など、相互に交流事業を行ってきた。近年は、結縁 15 周年記念事業、親善大使派遣、職員派遣などの事業を行っている。また、姉妹都市であることがきっかけとなり、市民活動団体による交流へと広がってきている。

※姉妹都市交流のあゆみ（別表）参照

（2）友好都市交流

韓国西帰浦市城山邑とは、1994 年に旧玄海町と旧城山邑との間で友好交流都市の締結を行い、相互交流を行ってきた。2005 年には、城山邑が合併して西帰浦市となったが、新たに西帰浦市とは締結せず、交流の対象を限定して行うこととなった。現在は、主に城山邑行政視察団の受入れを行っている。

（3）その他の都市交流

協定書を取り交わさずに行っている交流事業としては、ニュージーランド少年少女海外派遣事業、ニュージーランド国マウント・ロスキル校交流事業がある。

少年少女海外派遣研修使節団(過去 5 年)

年	人
2004	30
2005	24
2006	19
2007	18
2008	15

マウント・ロスキル校宗像市訪問団(過去 5 年)

年	人
2004	22
2005	25
2006	22
2007	25
2008	14

2. 民間交流の現状

市民や市民活動団体、企業などが主体となって行う民間交流としては、次のようなものが挙げられる。

（1）姉妹都市交流

・金海市少年野球チームとの親善試合やホームステイ交流（宗像スポーツ少年団）
・金海市芸術団体との合同公演会による両国文化紹介（むなかた太鼓振興会）
・金海市女性団体との交流（むなかた男女共同参画協議会）

（2）友好都市交流

・韓国済州道城山浦水産業協同組合と姉妹縁組による交流（鐘崎漁業協同組合）

（3）その他の交流

・ワールドフェスティバル（宗像地域国際交流連絡協議会）

・韓国巨済市・愛光園との交流（ふねの会）
・韓国昌原市ＪＣとの交流（宗像青年会議所）
・高校生相互派遣事業（宗像ライオンズクラブ）
・台湾湖東小学校とのホームステイ交流（赤間小学校）
・ＪＩＣＡ（国際協力機構）研修員の受け入れ事業（日本赤十字九州国際看護大学）
・ブルガリア共和国カザンラック市との文化・スポーツ交流（グローバルアリーナ）
・国際スポーツ大会でのホームステイ交流（グローバルアリーナ）

３．これからの課題

これまで、本市で行われてきた国際交流の取り組みは、それぞれ個々の活動としては国際交流の推進に寄与しているが、いずれも市全体としての活動の広がりまでには至っていない。市民の中には、機会があれば国際交流活動に参加したいと考えている人が少なくないにも関わらず、様々な国際交流活動の情報が市民に十分に伝わっていないのが現状である。

したがって、市内で行われている様々な国際交流活動については、市民にその活動を広く周知するとともに、それぞれの活動が単発で終わってしまうのではなく、他の団体との連携や情報交換の場を持つことで、より細やかで息の長い活動の展開を図っていくことが重要である。

行政交流の基軸である姉妹都市交流についても、行政同士の交流は進んでいるものの、民間での行き来はまだ充分であるとは言えない。

また、友好都市交流は、協定締結当初の相互交流から形態も変わってきており、今後のあり方について見直す必要がある。

行政は、地域で活動する市民や市民活動団体が持っている経験や専門知識を活かせるよう、コーディネートする機能が求められていることから、民間の草の根交流活動を支援するとともに、お互いの利点を活かした役割分担を行いながら、市全体の国際交流活動の活性化を図っていく必要がある。

第４章 今後の国際交流の取り組み

市としては、行政レベルでの交流を推進していくだけではなく、民間レベルの多様な交流を促進するため、市民や民間の国際交流団体と一層の連携を図り、市民が主体となった交流の支援を行っていく。また、民間が取り組む国際交流を支援するため、都市間での協定の締結なども推進する。

国際交流団体同士の相互の連携及び情報交換の場には、団体としてだけでなく、個人レベルでも参加できる仕組みを検討し、民間レベルの国際交流のさらなる活性化を図っていく。

このため、市内の国際交流に関する情報の集約に努め、市広報紙や市民活動交流館（メイトム宗像）の情報コーナーを活用して国際交流団体の活動状況などの情報を市民や外国籍住民が気軽に入手できるようにすることにより、市民と外国籍住民との交流機会を促進し、それぞれが尊重しあう地域社会づくりを推進していく。

また、人づくりでまちづくり基金事業を活用し、国際交流活動の知識と経験を持つ人材の育成

に努める。

世界に開かれた宗像市を目指し、行政や市民、市民活動団体、企業など、それぞれが役割を担い、連携することによって地域の将来を見据えながら国際交流を推進していく。

１．姉妹都市交流

姉妹都市との交流については、交流分野を特定せず、すべての分野での交流を行っていく。

韓国金海市とは、これまでの経過を尊重し、本市の貴重な財産として、今後とも双方の発展のために友好関係を継続して深めていくものとし、行政レベルでの交流を充実・発展させることにより、民間レベルの交流を活性化させていく。

・文化イベントなどにあわせて、市民から選ばれた親善大使をお互いに派遣するなどの交流を行う。

・職員の相互派遣研修事業を推進し、お互いのまちづくり、人づくりに寄与できる交流を推進する。

・双方の親善大使が任期終了後も交流が継続するよう、支援する。

・市民活動団体や企業が、文化やスポーツなどの様々な分野でお互いの交流が深められるよう、人づくりでまちづくり事業補助金や他の助成金などが活用できるよう、支援する。

２．パートナー都市交流

市民活動団体や企業などが公益的かつ継続的に交流を行っている都市とは、新たに都市間協定を締結する。

これにより、民間レベルの主体的な交流の充実・発展を図り、草の根交流活動を側面から支援する。

３．その他の交流

これまで友好都市交流を行ってきた韓国西帰浦市城山邑とは、民間の観光分野での交流を中心に行っていく。

ニュージーランド少年少女派遣事業、マウント・ロスキル校との交流事業を引き続き行うとともに、ホームステイなどの体験をとおし、次世代を担う青少年と世界各国の人たちとの交流を推進し、少年期から国際感覚を醸成していく。

本市を訪れる外国の団体とは、交流の主体である活動団体だけでなく、国際交流に取り組む他の団体やコミュニティ組織、市民が情報交換しながら交流できるよう、連携を図っていく。

大学などの海外研修員の受け入れ事業では、行政施策に関する研修で積極的に協力し、国や自治体における行政の役割や公的サービスの充実を考えるための示唆となる情報を提供していく。

姉妹都市交流のあゆみ　（別表）

1992 年(平成４年) ～1997 年(平成 9 年)	1992 年 4 月　金海市において姉妹都市締結 1993 年 4 月　姉妹都市締結１周年記念に金海市の副市長他が宗像市訪問 1993 年 7 月　宗像市の市民団体オガチ会が、金海市伽耶文化研究会を訪問 1994 年 1 月　第１回金海市小・中学生交流訪問団が宗像市を訪問(以降 2004 年第 9 回まで相互または隔年実施) 1994 年 8 月　両市の体育協会がスポーツ交流を隔年実施 94-95 年:サッカー、ハンドボール、剣道 96-97 年:ゲートボール、卓球 1994 年 11 月　金海市庁職員が宗像市で派遣研修訪問(以降隔年派遣) 1995 年 10 月　第１回交流美術展を宗像市で開催(1997 年第 2 回、1999 年第 3 回 2002 年第 4 回) 1997 年 4 月　姉妹都市締結５周年記念行事を宗像市で開催
～2002 年(平成 14 年)	1998 年 8 月　両市の体育協会がスポーツ交流を隔年実施（ミニバスケットボール、硬式テニス） 1998 年 11 月　宗像地域国際交流連絡協議会が金海市で市民団体交流協議 1999 年 5 月　金海市舞踊協会が「むなかた芸術祭」で特別公演 1999 年 8 月　第１回日韓青少年交流事業（宗像少年の翼）で、宗像市の小・中学生ら１１２人が金海市を訪問 1999 年 10 月　宗像市いきいきフェスタにて「金海市フェア」を開催。(99 年：キムチ作り教室、00 陶芸教室など) 2000 年 4 月　宗像市舞踊協会が、第２４回駕洛文化祭で民俗舞踊公演 2000 年 11 月　宗像市の女性連絡協議会が、金海市で女性団体との交流 2001 年 4 月　金海市長・議長他が、宗像市の市制施行 20 周年記念式典に参加 金海市舞踊協会がサムルノリの公演 2002 年 10 月　８月の集中豪雨により甚大な被害を受けた金海市に、宗像市民から集まった義援金を贈呈、災害現場を視察（10/9～10） 姉妹都市１０周年記念行事を宗像市で開催（10/20～21）
～2007 年(平成 19 年)	2003 年１月　金海市女性団体協議会が宗像市を訪問。宗像市女性連絡協議会と男女協同参画について意見交換 2003 年 4 月　むなかた太鼓が金海市を訪問し、金海市駕洛文化祭にて公演 2003 年 4 月　宗像市舞踊協会が伝統舞踊披露のため金海市を訪問 2003 年 5 月　学びの交流金海市訪問事業として、宗像少年少女劇団および宗像市少年少女合唱団らが金海市にて演劇「海の華」を再演 少年野球･ボーリングでのスポーツ交流を宗像市にて両市の体育協会が実施 03-04 年：軟式野球、ボーリング 05-06 年：バレーボール、バトミントン 07 年：サッカー、ソフトテニス 2003 年 7～10 月　合併記念事業で金海市と宗像市の小学生が野外活動を体験。

	サムルノリ芸術団とむなかた太鼓が共演。市内の青少年らとの合宿体験。金海市の青少年弦楽団と宗像市管弦楽団のジョイントコンサートを開催 2004 年 8 月　金海交響楽団が宗像市を訪問し、宗像フィルハーモニー管弦楽団との交流演奏会を開催。12 月は金海市で交流演奏会開催 2005 年 10 月　「伽耶世界文化祝典２００５,金海」参加 日本赤十字九州国際看護大学「ゆいまーるのわ」によるエイサーの公演、宗像市長および議長訪問団が視察 宗像地域国際交流連絡協議会による浴衣の着付け・ぜんざい試食・抹茶試飲などの体験コーナー開設 2006 年 9 月　「伽耶世界文化祝典２００６,金海」むなかた太鼓と宗像三曲協会が公演。むなかた太鼓と金海民俗芸術保存会が共演。 2007 年 4 月　金海市「第 31 回伽耶文化祝祭」を副市長および議長訪問団が視察 2007 年 7 月　宗像市スポーツ少年団が金海市を訪問、スポーツ交流及びホームステイ交流（8 月に金海市受入） 2007 年 10 月　宗像市女性連絡協議会が金海市を訪問、金海市視察およびホームステイ交流 2007 年 11 月　宗像市金海市姉妹都市結縁 15 周年事業開催。金海市長および議長訪問団が来宗。韓国舞踊協会金海市支部を文化協会が、蓮池国楽院を宗像市が招請公演。
～2009 年(平成 21 年)	2008 年 1 月　金海市親善大使が金海市を訪問 2008 年 4 月　「第 32 回伽耶文化祝祭」に大正琴「彩音会」が参加公演。市長、議長および親善大使訪問団が視察。宗像市親善大使を任命。 2008 年 7 月　宗像少年野球団が金海市を訪問。親善試合交流。 2008 年 8 月　金海市にある仁濟大学校から宗像市にある三大学との交流の打診あり。仁濟大学校教授が各大学を訪問 2008 年 9 月　金海市長一行が道の駅視察。宗像市親善大使が宗像市を訪問。みあれ祭や市内を視察。金海市親善大使や市民と交流。 2008 年 10 月　むなかた太鼓が金海市で公演 宗像市女性連絡協議会が金海市女性団体受入、宗像市視察およびホームステイ交流（竹島問題のため延期） 2008 年 12 月　日赤看護大学学長らが仁濟大学校を視察 2009 年 4 月　「第 33 回伽耶文化祝祭」にダンス「B.D.S family」が参加公演。市長、議長および親善大使訪問団が視察。宗像市親善大使を任命。